

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和7年3月14日

事業所名 おおふじ学園

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		基準以上のスペースを確保し、児童が快適に過ごせるよう配慮しています。
	2	職員の配置数は適切である	○		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		事業所内は段差がない構造になっています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		年2回以上振り返りを行い、業務改善や今後の目標に繋げています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケート調査を実施して保護者の意向を把握して業務改善に繋げています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		事業所のホームページで公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	現在、第三者評価は受けていません。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		事業所内での研修の実施や外部の研修に参加しています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		モニタリングの評価やアセスメントを行い、得られたニーズや課題を分析し、計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		標準化されたアセスメントシートを利用しています。必要に応じて見直しをおこなっています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員間で情報を共有して、子供たちが楽しみながら色々な体験ができるように考え活動を組み立てています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		個別対応を基本として、一人ひとりに合わせた対応を行っています。児童の反応を見ながら随時内容を工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		平日の短い時間ではできない活動を学校休業日に行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別対応を基本として、一人ひとりに合わせた対応を行っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日打合せを行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日打合せを行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		活動日誌に記録し、児発管、管理者が確認し、必要に応じて改善しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に1回以上モニタリングを行い、支援計画の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管を中心に、ふさわしい職員が参画しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		送迎時に申送りを行い、児童の学校での様子等、情報共有をしています。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○	個別基本情報を下に、主治医と連絡を取れる体制を整えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	対象者がいる年は情報提供を行います。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○	対象者がいる年は情報提供を行います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	研修会に参加し助言を受けています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	現在は行っておりませんが、必要に応じて検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○	その都度参加をしています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	送迎時や連絡帳にて日々の情報の共有を行っています。また、面談の際に現状や課題について共通理解できるように努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	保護者から日常生活上での相談があった場合は、助言や提案を行っています。
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	その都度対応し、必要がある時は継続的なご対応をさせていただいています。
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	現在は開催しておりませんが、保護者のニーズに応じて支援いたします。
33		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	苦情受付担当者や第三者委員を設置して苦情があった場合に適切に対応できるようにしています。
34		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	現在は会報の発行してはしません。
35		個人情報に十分注意している	○	契約時に個人情報の取り扱いについて説明した内容を遵守しています。
36		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	意思の疎通がしやすいように構造化する形を用いている。
37		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	年に数回行事等へ地域の方々を招待したり、職員が地域に出向いたりして交流の場を設けています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	マニュアルを策定し、職員、保護者に周知を行っています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	防災訓練を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	研修や、定期的に虐待防止アンケートを行い、振り返りの時間を設けて虐待防止に努めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	虐待防止マニュアルに沿って対応し、必要に応じて個別支援計画に記載します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	医師の指示書に基づき対応します。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	